



平成23年2月4日

各 位

会 社 名 シークス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 村瀬 漢章
コ ー ド 番 号 7613 東証・大証 第1部
問 合 せ 先 執行役員経理部長 大野 精二
電 話 番 号 06-6266-6415

減損損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、固定資産の減損損失を計上する旨の決議を行いましたので、下記の通りその内容をお知らせいたしますとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成22年8月11日に公表した業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の内容

当社が保有する固定資産(東京営業部が入居するオフィスビルの賃貸部分)に関しまして、不動産価格の下落等による減損の兆候が認められた為、その認識・測定を行った結果、平成22年12月期決算において固定資産の減損損失519百万円を特別損失として計上いたします。

2. 業績予想の修正

・平成22年12月期通期連結業績予想の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	160,770	5,010	5,180	3,450	146円19銭
今回修正予想(B)	166,480	5,330	5,640	3,270	138円56銭
増減額(B-A)	5,710	320	460	△180	-
増減率(%)	3.6	6.4	8.9	△5.2	-
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	125,485	2,680	2,797	2,868	121円11銭

3. 修正の理由

第4四半期を通じて、デジタル家電機器・基板実装品、車載関連機器用部材・基板実装品、および情報機器用部材の出荷が予想以上に好調に推移したことから、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。当期純利益につきましては、前述のように、固定資産の減損損失を特別損失として計上いたしますので、前回予想に対して微減となる見込みです。

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれております。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以上